

令和5年度（2023年度） 春季入学

大学院環境共生学研究科 学生募集要項

（博士前期課程）

一 般 選 抜
（ 国 際 協 力 枠 ）

社 会 人 特 別 選 抜
（ 国 際 協 力 枠 ）



目 次

熊本県立大学における高度グローバル人材育成	1
環境共生学研究科の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）	2
入学試験日程・募集人員一覧	3

博士前期課程 学生募集要項

1 募集人員	4
2 出願資格	4
3 出願期間	5
4 出願手続	5
5 選抜方法	7
一般選抜（国際協力枠）	7
社会人特別選抜（国際協力枠）	9
6 出願資格審査について	10
7 合格発表	11
8 入学手続	11
9 本学学部卒業生の大学院入学受入れへの優遇措置（入学金免除制度）について	12
10 国際協力枠に係る大学院入学受入れへの優遇措置（入学金免除制度）について	12
11 授業料	13
12 口頭による成績開示について	13
13 個人情報の取り扱いについて	13
14 その他注意事項	13
環境共生学研究科（博士前期課程）のご案内	14
研究分野の特色	16
指導教員等一覧	18
入学願書等様式	

熊本県立大学における高度グローバル人材育成

1 概要

2019年10月、JICAと熊本県が締結した「熊本県と独立行政法人国際協力機構との連携協定」に県の発展に貢献する人材の育成が盛り込まれたことなどを踏まえ、本学ではグローバル人材育成を積極的に推進し、学部教育だけでなく、大学院教育においても、海外体験（国際協力・貢献活動）と大学院の専門教育を実施し、熊本のグローバル化に貢献できる人材の育成に取り組むこととしています。

本学卒業後は、選択肢の一つとして熊本県内の企業、行政機関等に就職されることを検討していただき、熊本のグローバル化をリードする人材として活躍してほしいと考えています。地域の振興・発展に貢献されることを期待します。

2 対象

A: 国際協力・貢献活動を終えた方 ⇒ 社会人特別選抜（国際協力枠）

- 概ね2年間の国際協力・貢献活動の経験がある方のための入試制度として、社会人特別選抜（国際協力枠）を2019年度に創設しました。
- 国際協力・貢献活動の体験を活かしたキャリア形成として、大学院博士前期課程で2年間専門教育を受けます。

B:これから国際協力・貢献活動を経験したい方 ⇒ 一般選抜（国際協力枠）

- 大学院在学中に国際協力・貢献活動を経験し、卒業後は高度グローバル人材として活躍することを目指す方のための大学院教育（博士前期課程）で、2020年度に創設しました。
- 講義の履修や国際協力・貢献活動、学位論文作成等、3年間の専門教育を受けます。（注1）

（注1） 修学年限を3年間又は4年間とする場合は、長期履修制度が適用されます。なお、長期履修制度が適用されると、授業料の総額は、博士前期課程では2年間分と同額になります。また、年額は、総額を長期履修が認められた期間の年数で除した額になります。

3 優遇措置

- 国際協力枠の入学者は入学金が半額減免されます。

※ 「10 国際協力枠に係る大学院入学者への優遇措置」参照

- 大学院で奨学金を利用した方が、卒業後に熊本県内に就職した場合、奨学金返還に対する支援の対象となることがあります。（注2）

（注2） 「ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度」による支援
<https://www.kumakatsusupport.pref.kumamoto.jp/>

環境共生学研究科の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

1 人材養成の目標

(1) 博士前期課程

ア 高度専門職業人の養成

環境問題に造詣の深い人材への社会的需要は極めて大きいため、環境共生に関する専門的・学術的な知識を有する高度専門職業人の育成を目指します。

イ 研究者の養成

大学院博士後期課程へ入学できる人材を養成するとともに、公的研究機関や企業の研究開発部門で活躍できる人材の養成を目指します。

ウ 高度教育者の養成

高度な専門的知識を有し、教育分野で活躍できる人材の養成を目指します。

エ 社会人の再教育

社会人に対しても広く門戸を開放することによって、改めて「環境」の視点から、自ら専門分野を再学修する機会を提供し、環境共生に関する広くかつ専門的な知識を備えた人材を養成します。

2 求める人材像

(1) 博士前期課程

環境共生学研究科の理念に基づき、学部において基礎学力、プレゼンテーション能力、語学力を身に付けており、高い研究学修意欲があると認められる学生、もしくは関連分野において同等の実務経験を持つ社会人。

3 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、本学が定める学力検査（英語、専門科目）、面接及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

入学試験日程・募集人員一覧

博士前期課程

【試験実施日程一覧】

	出願資格審査 申請期間	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
秋季募集	実施しません。	令和4年 7月25日(月) ～7月29日(金)	令和4年 8月27日(土)	令和4年 9月5日(月)	令和4年 9月12日(月) ～9月16日(金)
春季募集	令和4年 11月1日(火) ～11月8日(火) ※結果通知到着 12月9日(金)まで	令和5年 1月5日(木) ～1月12日(木)	令和5年 2月4日(土)	令和5年 2月20日(月)	令和5年 3月13日(月) ～3月17日(金)

【募集人員】

秋季募集	20名(一般選抜(国際協力枠を含む)、社会人特別選抜(国際協力枠を含む)、外国人留学生特別選抜の計)
春季募集	若干名(一般選抜(国際協力枠を含む)、社会人特別選抜(国際協力枠を含む)、外国人留学生特別選抜の計)

令和5年度(2023年度)熊本県立大学大学院 環境共生学研究科(博士前期課程)【春季入学】

一般選抜(国際協力枠)・社会人特別選抜(国際協力枠)

1 募集人員

環境共生学専攻

秋季募集 20名(一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の計)

春季募集 若干名(同 上)

2 出願資格

次の(1)～(9)のいずれかに該当し、次ページの選抜区分別出願条件を満たす者。

- (1) 大学を卒業した者及び令和5年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者(注1)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (8) 令和5年3月までに次のいずれかに該当する者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた者(春季募集のみ受付)(注2)
 - ① 大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者(春季募集のみ受付)(注3)

(注1) 上記(2)に該当する者とは、学位規則第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科を令和5年3月までに修了見込みの者で、該当者からの学士の学位の授与の申請を独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が受理したことについての証明書を提出できる者をいいます。

(注2) 上記(8)により出願する場合は、事前に出願資格審査を行いますので、「6 出願資格審査について」の要領で申請を行ってください。

(注3) 上記(9)の対象となる方は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、学士の学位を有しない者」です。

該当者は、事前に出願資格審査を行いますので、「6 出願資格審査について」の要領で申請を行ってください。

ただし、有効期間内に出願資格審査結果を利用して出願する場合を除きます。

選抜区分別出願条件

一般選抜 (国際協力枠)	特になし。
社会人特別選抜 (国際協力枠)	概ね2年間の国際協力・貢献活動の経験がある者。

3 出願期間

秋季募集 令和4年7月25日(月)から7月29日(金)まで

春季募集 令和5年1月5日(木)から1月12日(木)まで

郵送、持参を問わず、**最終日の17時までに本学教務入試課に必着**とします。

持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(12時20分から13時20分までの間を除く)。土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。

4 出願手続

(1) 出願方法

出願は、次の(2)の出願書類等を持参又は郵送してください。

郵送する場合は、**『速達・書留郵便』**により送付するものとし、封筒の表に「大学院環境共生学研究科博士前期課程入学願書(春季入学)」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等

①入学願書	本研究科所定の用紙 希望する研究分野を記入してください。(各研究分野の内容については、「研究分野の特色」を参照)
②受験票・写真票	本研究科所定の用紙 (写真票に貼付する写真は出願前3ヵ月以内に撮影したもので、脱帽上半身、正面向き、無背景のもの。裏面に氏名を記入しておいてください。)
③履歴書	本研究科所定の用紙
④研究志望調書	本研究科所定の用紙 (卒業論文等これまでの研究経過及び希望する研究テーマとその概要について、1,200字程度にまとめたもの) *英語の場合はA4判1枚程度
⑤国際協力・貢献活動の実績	*社会人特別選抜(国際協力枠)の受験者のみ 本研究科所定の用紙
⑥推薦書	*社会人特別選抜(国際協力枠)の受験者のみ 本研究科所定の用紙 *推薦機関等及びその代表者については、受験者の国際協力・貢献活動の期間及び活動の内容を証明できる機関等及びその代表者に限ります。
⑦成績証明書(厳封)	出願資格に該当する最終出身学校作成のもの(学校長名、学校印、発行日の記載がある原本に限る) *日本語以外で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。日本語訳を作成するために厳封を開封する場合は、あらかじめ(3)の問い合わせ先に問い合わせてください。

⑧卒業（見込）証明書	出願資格に該当する最終出身学校作成のもの（学校長名、学校印、発行日の記載がある原本に限る。） *日本語以外で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。
⑨外部外国語試験の成績証明 ※一般選抜のみ	下記(a)または(b)の写しを提出してください。また、提出した写しの原本を試験当日に持参してください。なお、令和2年7月以降に実施された試験の成績が有効です。 (a) Official Score Certificate (TOEIC® Listening & Reading 公開テスト) (b) Score Report (TOEIC® IP テスト)
⑩入学者選抜手数料	30,000 円 (郵送の場合は郵便為替とし、指定受取人及び委任欄は記入しないでください。また、出願受付後の返還は行いません。)
⑪現金領収書	本学所定の用紙（住所、氏名を記入してください。)
⑫受験票等返送用封筒	定形封筒（長形3号）に 344 円分の切手（速達料金含む。）を貼付し、志願者の郵便番号、住所、氏名を明記したもの。出願書類を持参する場合も提出してください。
⑬「2 出願資格(2)」に該当する者のうち、既に学位を授与された者については独立行政法人大学改革支援・学位授与機構発行の学位授与証明書、授与される見込みの者については、志願者が在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書及び独立行政法人大学改革支援・学位授与機構発行の学位授与申請受理証明書	
⑭戸籍抄本 ※該当者のみ	改姓により、成績証明書、卒業証明書等に記載されている氏名が、現在の氏名と異なる方のみ添付してください。
⑮住民票 ※該当者のみ	市区町村で発行したもの。在留資格、在留期間が明記されたものに限り、外国人留学生特別選抜の受験者で、日本に滞在中の方のみ添付してください。
⑯「2 出願資格(8)(9)」に該当する者のうち、有効期間内の出願資格審査結果を利用する場合は、「出願資格認定通知」の写し。 *出願資格審査結果（出願資格あり）の有効期限は5年間です。	

※出願資格審査を申請し、「出願資格あり」と認定された場合は同一年度に出願に限り出願書類の「⑦成績証明書」及び「⑧卒業証明書」を省略することができます。

(3) 出願書類の提出（郵送）・問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課 大学院入試担当
TEL 096-321-6610

(4) 受験票の交付

受験票は、出願書類の持参、郵送にかかわらず、後日、郵送により交付します（即日交付は行いません）。

なお、試験日の3日前になっても受験票が届かないとき、あるいは試験日前に受験票を紛失したときには、(3)の問い合わせ先まで問い合わせてください。

(5) 出願にあたっての注意事項

① 本募集要項、又は本学ホームページ研究者情報を参考に、あらかじめ指導を希望する教員と相談のうえ出願してください。

相談した教員氏名を、入学願書の「希望指導教員」欄に記入してください。

なお、入学後の実際の指導教員は、希望どおりにならない場合があります。

② 出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、合格を取り消すことがあります。

- ③ いったん受理した出願書類及び入学者選抜手数料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- ⑤ 出願書類等のうち、出願最終日の17時までに提出できない書類等がある場合は、出願最終日の2週間前までに(3)の問い合わせ先に問い合わせてください。

5 選抜方法

一 般 選 抜 (国 際 協 力 枠)

入学者の選抜は、本学が実施する学力検査、面接、英語試験の成績及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

(1) 学力検査

専門科目……次の試験科目(①～②⑤)の中からいずれか2科目を事前に選択し、願書、受験票及び写真票の所定の欄に記入して申請し、当日試験場にて、申請した科目を解答してください。

なお、申請した科目以外の問題を解答しても、採点の対象とはなりません。

学部における 関連科目等	環境資源学 関連科目群	居住環境学 関連科目群	食健康環境学 関連科目群
試験科目名	①海洋生態学 ②環境分析化学 ③大気環境学 ④沿岸海洋資源学※ ⑤植物資源利用学 ⑥環境材料科学 ⑦水環境科学	⑧建築環境整備 ⑨建築環境工学 ⑩建築構造学 ⑪建築設計・住空間計画学 ⑫木質構造学 ⑬農村計画学 ⑭建築計画学 ⑮都市計画学	⑯栄養生化学 ⑰臨床栄養学 ⑱食品安全性学 ⑲食品分析学 ⑳食品微生物学 ㉑環境と生体適応 ㉒運動制御と発育発達 ㉓食品機能栄養学 ㉔栄養教育学 ㉕給食経営管理論

※ 試験科目④は、春季募集では選択できません。

(2) 面接

研究志望調書に関する口頭試問を含めて、面接を行います。

(3) 外部外国語試験

外部外国語試験として、TOEIC® Listening & Reading 公開テスト及びTOEIC® IPテストを指定します。

(4) 試験日時

試 験 日	試験科目等	試 験 時 間	配 点	総 点
秋季募集 令和4年8月27日(土) 春季募集 令和5年2月4日(土)	専門科目	10:00～11:30	200	500
	面 接	13:00～	100	
	外部外国語試験	—	200 ※	

※ 外部外国語試験の点数は本学の定める基準により換算します。

注) 1 9時30分までに本学本部棟1階ロビーに集合してください。

2 面接の時間は当日学内に掲示します。

3 専門科目については、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めるものとします。

4 試験当日の荒天(台風の接近等)が予想される場合、試験実施の有無等について、試験前日に本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)に掲載します。必ず確認してください。

(5) 試験場

熊本県立大学 … 熊本市東区月出3丁目1番100号

TEL 096-321-6610

(6) 大学院入試専門科目キーワード

熊本県立大学大学院環境共生学研究科博士前期課程では、開講される4分野でそれぞれ研究教育を希望する学生を募集します。ただし、入学試験専門科目としては熊本県立大学環境共生学部での学部教育に基づく関連科目が設定されます。受験生は専門科目25科目の中から事前に2科目を試験科目として選び、願書に記入して申請し、当日その問題を解答することになります。以下に、各専門科目の概要（熊本県立大学環境共生学部における教育内容）を理解していただくため、それぞれにキーワードを列挙しましたので参考にしてください。

環境資源学関連科目群；

①海洋生態学	沿岸閉鎖性水域、底生生物、干潟、一次生産、二次生産
②環境分析化学	化学物質、微量分析、微量汚染化学物質の環境動態、環境影響評価、高感度分析、環境毒性
③大気環境学	大気役割、大気の流れ、大気中の物質循環、大気汚染、浮遊粒子状物質、気候変動
④沿岸海洋資源学	海洋生態系、プランクトン、水産増養殖、海洋微生物、栄養塩、物質循環
⑤植物資源利用学	植物資源、植物生産、植物利用、植物と環境、人間と植物生産、農業と環境
⑥環境材料科学	高分子化学、セラミックス材料学、金属材料学、廃棄物処理、ライフサイクルアセスメント(LCA)
⑦水環境科学	水環境、水質汚濁、重金属、微量元素、汚染モニタリング、生体応答、リスク評価、感受性評価

居住環境学関連科目群；

⑧建築環境整備	空気調和設備、換気設備、給排水衛生設備、省エネルギー手法
⑨建築環境工学	温熱環境、光環境、音環境、空気環境、室内環境、都市環境
⑩建築構造学	構造力学、荷重・外力、許容応力度設計、鉄筋コンクリート構造、鋼構造
⑪建築設計・住空間計画学	建築論、空間美学、住空間デザイン、人間中心のデザイン、空間認知、空間評価、空間概念、空間論
⑫木質構造学	在来軸組構法、枠組壁工法、大断面集成材による構法、木質系建物の耐震性能、木質系材料
⑬農村計画学	農山村地域、過疎、小規模集落、集落機能、多面的機能、農村景観、里づくり、地域再生、持続可能性
⑭建築計画学	住居・住環境計画、独立住宅・集合住宅、福祉居住環境、福祉のまちづくり、バリアフリー・ユニバーサルデザイン、地域コミュニティ施設、ミュージアム、学校
⑮都市計画学	まちなか、縮小都市、公共空間デザイン、空地デザイン、デザインコード、都市空間の形成史、東アジアのまちづくり、エコミュージアム、リノベーション、まちづくり、近隣職住

食健康環境学関連科目群；

⑯栄養生化学	糖質・脂質・タンパク質・アミノ酸の代謝、細胞のシグナル伝達、器官の生化学
⑰臨床栄養学	生活習慣病（メタボリック症候群など）、動脈硬化、糖代謝、脂質代謝、インスリン抵抗性、糖尿病合併症
⑱食品安全性学	食品汚染物質、化学物質の生体影響、リスク分析、関連法規および制度
⑲食品分析学	二次機能、三次機能、食品成分の化学的性質・相互作用、一般成分分析、機器分析、品質管理

⑩食品微生物学	微生物の生理、微生物の物質代謝、微生物利用食品、食品の保存と微生物管理、微生物バイオテクノロジー、遺伝子組換え
⑪環境と生体適応	脳の可塑性、脳の健康、環境受容、ライフスタイル、運動と栄養、健康教育
⑫運動制御と発育発達	脳科学、バイオメカニクス、子ども、高齢者、運動機能、感覚機能
⑬食品機能栄養学	食品の三次機能、栄養素の体内代謝、生活習慣病、食事摂取基準
⑭栄養教育学	ヘルスプロモーション、行動科学の理論とモデル、行動変容技法と概念、食物へのアクセス、情報へのアクセス、栄養教育マネジメント
⑮給食経営管理論	マーケティング、栄養・食事管理、調理と嗜好性、調理と栄養、生産管理、給食のマネジメント

(7) 合格基準

- ① 総点の概ね6割以上を合格とします。
- ② 総得点が合格基準に達しない場合でも、特に優秀な科目等があれば合格とすることがあります。
ただし、上記①または②に該当する場合でも、1科目でも得点が3割以下の科目等があれば、不合格とします。

社 会 人 特 別 選 抜 (国 際 協 力 枠)

入学者の選抜は、本学が実施する学力検査、口頭試問及び研究志望調書等の書類審査の結果を総合して行います。

- (1) 学力検査
小論文による学力検査を行います。
- (2) 口頭試問
研究志望調書に関する口頭試問を行います。
- (3) 試験日時

試験日	試験科目等	試験時間	配点	総点
秋季募集 令和4年8月27日(土)	小論文	10:00～12:00	100	200
春季募集 令和5年2月4日(土)	口頭試問	13:00～	100	

- 注) 1 9時30分までに本学本部棟1階ロビーに集合してください。
 2 口頭試問の時間は、当日学内に掲示します。
 3 小論文については、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めるものとします。
 4 試験当日の荒天(台風の接近等)が予想される場合、試験実施の有無等について、試験前日に本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)に掲載します。必ず確認してください。

- (4) 試験場
熊本県立大学 … 熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL 096-321-6610

(5) 採点・評価基準

小論文	専門分野に関する知識や考察力、論理的思考力、表現力、記述力を評価します。
口頭試問	これまで行ってきた活動や研究計画の説明により、専門分野に関する知識や考察力、意欲や研究遂行能力などを評価します。(口頭発表15分、質疑応答10分)。

(6) 合格基準

- ① 総点の概ね6割以上を合格とします。
- ② 総得点が合格基準に達しない場合でも、特に優秀な科目等があれば合格とすることがあります。
ただし、上記①または②に該当する場合でも、1科目でも得点が3割以下の科目等があれば、不合格とします。
- (7) オンラインによる試験
 - ① 社会人特別選抜(国際協力枠)に出願する海外在住の方に限り、オンラインによる試験を申し込むことができます。
 - ② 受験にあたっては、パソコン等で本学が指定するビデオ通話アプリケーションを使用し、十分な速度の通信が長時間行える通信ネットワークなどの環境を用意する必要があります。(基本的にパソコン等との接続は有線LANであること。)
 - ③ 試験の内容については、前記(1)～(3)(注釈を除く。)及び(5)～(6)のとおりで、これをオンラインで実施します。
 - ④ オンラインによる試験を希望する場合は、出願する際に熊本県立大学教務入試課宛(nyusi@pu-kumamoto.ac.jp)にメールで連絡してください。
 - ⑤ オンラインによる試験の可否については、出願者の受験環境等について把握したうえで検討し、決定します。

6 出願資格審査について

■ 「2 出願資格(8)」により出願する場合

- (1) 出願資格審査に必要な書類
 - ① 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙)
 - ② 履歴書(本研究科所定の用紙)
 - ③ 成績証明書 ※厳封
 - ④ 在学証明書又は卒業(修了)証明書
 - ⑤ 戸籍抄本(※該当者のみ)
改姓により、③及び④に記載されている氏名が現在の氏名と異なる方のみ添付してください。
 - ⑥ 返信用封筒(定形封筒(長形3号)に344円分の切手(速達料金含む)を貼り、住所・氏名を明記してください。)
- (2) 審査方法
書類審査(上記(1)①～⑤による)
- (3) 出願資格審査申請書類の提出期間
令和4年11月1日(火)から11月8日(火)まで
- (注) 郵送、持参を問わず、最終日の17時までには本学教務入試課に必着とします。
持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします(12時20分から13時20分までの間を除く)。土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。
また、郵送の場合は、『速達・書留郵便』により送付するものとし、封筒の表面に「大学院環境共生学研究科(博士前期課程)春季入学出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。
- (提出先)
〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課 大学院入試担当
- (4) 出願資格審査結果の通知
令和4年12月9日(金)までに本人宛に通知します。

■ 「2 出願資格(9)」により出願する場合

- (1) 出願資格審査に必要な書類
 - ① 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙)

- ② 履歴書（本研究科所定の用紙）
※研究に関連する資格を取得しているときは、資格を証明するもの（例えば管理栄養師免許状の写し）を添付してください。
- ③ 成績証明書（最終出身学校作成のもの及び現在在籍している学校作成のもので、総履修時間数も記載されているもの） ※厳封
- ④ 卒業証明書（最終出身学校作成のもの）
- ⑤ 研究志望調書（本研究科所定の用紙）
これまでの研究経過または職務上の業績及び希望する研究テーマとその計画の概要等について記述した文書（1,200字程度）を提出してください。
なお、すでに論文や報告書などにまとめられたものがあれば、可能な限りで提出してください。
- ⑥ 戸籍抄本（該当者のみ）
改姓により、③及び④に記載されている氏名が現在の氏名と異なる方のみ添付してください。
- ⑦ 返信用封筒（定形封筒（長形3号）に344円分の切手（速達料金含む）を貼り、住所・氏名を明記してください。）
- (2) 審査方法
書類審査（上記(1)①～⑥による）
- (3) 出願資格審査申請書類の提出期間
令和4年11月1日（火）から11月8日（火）まで
(注) 郵送、持参を問わず、最終日の17時までに本学教務入試課に必着とします。
持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします（12時20分から13時20分までの間を除く）。土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。
郵送の場合は、『速達・書留郵便』により送付するものとし、封筒の表面に「大学院環境共生学研究科（博士前期課程）春季入学出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。
- (提出先)
〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課 大学院入試担当
- (4) 出願資格審査の結果の通知
令和4年12月9日（金）までに本人宛に通知します。

7 合格発表

秋季募集 令和4年9月5日（月）13時30分以降

春季募集 令和5年2月20日（月）13時30分以降

本学ホームページ（<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/>）に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者にのみ郵送で通知します（電話による問い合わせには応じません）。

ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします。

8 入学手続

合格通知書とともに送付する書類の提出及び入学金の納付が必要です。

(1) 手続期間

秋季募集 令和4年9月12日（月）から9月16日（金）まで

春季募集 令和5年3月13日（月）から3月17日（金）まで

※郵送、持参を問わず、**最終日の17時までに本学教務入試課に必着**とします。

持参する場合の受付時間は、9時から17時までとします（12時20分から13時20分までの間を除く）。

上記期間内に手続をしなかった場合は入学辞退とみなします。

(2) 手続場所（郵送する場合の送付先）

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学教務入試課 大学院入試担当
TEL 096-321-6610

(3) 提出書類

持参又は郵送により提出するものとしますが、郵送する場合は必ず『速達・書留郵便』としてください。

① 宣誓書（外国人留学生の場合は誓約書）

② 保証書…保証人1名が必要です。

※外国人留学生の場合は、日本国内在住の身元保証人1名（社会人に限る）を要します。

③ 住民票（主たる生計維持者及びその世帯員全員のもの）

※県内生に該当する場合のみ提出してください。

※県内生とは、入学者が一にする生計の主たる維持者が、秋季募集合格者については、令和4年9月16日の6ヶ月前（令和4年3月16日）から、また、春季募集合格者については、令和5年3月17日の6ヶ月前（令和4年9月17日）から引き続き熊本県内に住所を有する者をいいます。なお、外国人留学生の場合は、前述の期日から引き続き熊本県内に住所を有する者をいいます。

(4) 入学金（令和4年度現行）

県内生 207,000 円

県外生 414,000 円

（注1）振込取扱票（合格通知書に同封）により郵便局・ゆうちょ銀行で納付し、その際に受領する「振替払込受付証明書（お客さま用）」を提出してください。

（注2）本学学部を卒業し大学院に進学する場合は、大学院入学者の優遇措置として入学金が免除される場合があります。詳細は「9 本学学部卒業生の大学院入学者への優遇措置（入学金免除制度）について」をご覧ください。

（注3）入学手続後、やむを得ず入学を辞退する場合は、必ず、令和5年3月24日（金）までに教務入試課入試班に連絡してください（「入学辞退届」を提出していただきます）。

なお、納められた入学金は、入学手続をしなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

9 本学学部卒業生の大学院入学者への優遇措置（入学金免除制度）について

本学出身の若手研究者の育成に資するため、本学学部を卒業し引き続き本学大学院（博士前期課程）へ入学を希望する者で、下記の(1)～(3)の条件をすべて満たす者については入学金を全額免除します。

(1) 入学時点で本学の学部を卒業して1年未満の者

(2) 本学大学院の博士前期課程の入学試験に合格し入学しようとする者

(3) 3年次までの累積GPAが3.0以上であること。

10 国際協力枠に係る大学院入学者への優遇措置（入学金減免制度）について

本学におけるグローバル人材育成に資するため、本学大学院（博士前期課程）の一般選抜（国際協力枠）及び社会人特別選抜（国際協力枠）へ入学を希望する者で、下記の(1)の条件を満たす者については、2(4)に記載する入学金を1/2に減免します。

(1) 本学大学院の博士前期課程の一般選抜（国際協力枠）及び社会人特別選抜（国際協力枠）の入学試験に合格し入学しようとする者

※ 減免後の入学金は下記のとおりです。

県内生 103,500 円

県外生 207,000円

- (2) 一般選抜(国際協力枠)で入学したものが、入学後に国際協力・貢献活動の履修を希望しない等の理由により、一般選抜で入学した者として取り扱うこととなった場合は、減免した額と同額の納付を求めることとする。ただし、9に記載する「本学学部卒業生の大学院入学者への優遇措置」により、既に入学金が全額免除されたものについてはこの限りではない。
- (3) 一般選抜で入学したものが、入学後に国際協力・貢献活動の履修を希望し、一般選抜(国際協力枠)で入学したものとして取り扱うこととなった場合は、入学金の1/2減免は行わない。

11 授業料(令和5年度予定)

年 額 535,800円(各期 267,900円×2期)

(注)在学中に授業料額及び納付期日等が改定された場合には、改定時から適用されます。

12 口頭による成績開示について

(1) 開示内容

得 点 各試験科目等の総得点

順 位 不合格者のみの開示で、不合格者が10名以上の場合に限りランク表示をします。

ランクは、不合格者を成績順に3ランク(上位1/3がA、中位1/3がB、下位1/3がC)に区分して表示します。

(2) 請求期間及び時間

秋季募集 令和4年9月8日(木)から10月7日(金)まで

春季募集 令和5年2月23日(木・祝)から3月22日(水)まで

取扱時間は、9時から17時までとします(12時20分から13時20分までの間を除く)。

土曜日、日曜日及び祝日は受付・開示を行いません。また、学部の一般選抜の実施に伴い、2月24日についても受付及び開示を行いません。

(3) 請求方法及び場所

入学試験を受験した本人が、熊本県立大学に来学の上、教務入試課窓口で口頭により請求してください(代理人による申込及び代理人への開示はできません)。

なお、本人確認のため、本学大学院受験票を持参してください。受験票を紛失等した場合はお問い合わせください。

13 個人情報の取り扱いについて

入学出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報及び入学試験の成績や結果に関する個人情報につきましては、熊本県個人情報保護条例に基づき、適正な管理を行っています。

これらの個人情報は、本学における入学者選抜業務、入学手続、入学後の学籍・学生生活関係業務及び統計資料作成のために利用し、他の目的への利用や本学以外の者への提供は一切行いません。

なお、受験者本人から入学試験成績等の開示請求があったときは、熊本県個人情報保護条例等に基づき開示することになります。

14 その他注意事項

身体上の機能の障がい等により受験及び修学に際して配慮を希望する場合は、次に掲げる期日までに本学教務入試課に相談のうえ、指定する書類を提出してください。

秋季募集 令和4年7月25日(月)

春季募集 令和5年1月5日(木)

環境共生学研究科（博士前期課程）のご案内

1 教育課程の編成

環境共生学研究科の理念及び人材養成の目標を実現するために、本研究科の教育課程は、次の4つの分野で編成されています。

- | | |
|------------|-------------|
| A 環境科学分野 | B 空間システム学分野 |
| C 栄養・健康学分野 | D 地域資源活用学分野 |

2 標準修業年限 2年

3 昼夜開講制の実施

社会の激変化、科学技術の急速な進歩に伴い、新たな専門知識、最新技術の修得の必要性が高まり、社会人の間では再教育に対する期待が増大しています。そこで社会人の受入を積極的に進めていくため、昼夜開講制を実施しています。

4 長期履修制度の実施

社会人の様々な学習需要に対応するために、長期履修制度を導入しています。この制度は、職業を有している、あるいは育児、長期介護等のために、年間に修得できる単位数や研究活動・学習活動への時間数が限られるため、標準の修業年限で修了することが困難な学生を対象に、事情に応じて、標準の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる制度です。

入学者選抜試験前であっても、この制度について質問などがある場合は、教務入試課（教務班 TEL：096-321-6609）に御相談ください。

(1) 対象となる方

- ① 職業を有し、標準修業年限2年で修了することが困難な方
- ② その他、長期履修が必要となる相当の理由がある方

(2) 修業年限

最長4年までの範囲内で認められた年限

(3) 授業料

標準の修業年限に支払うべき授業料総額（博士前期課程では2年間分）を、あらかじめ認められた修業年限で除した額をそれぞれの年（納期）に支払うことになります。

(4) 申請手続及び長期履修の許可

申請を希望する場合は、指導教員に相談のうえ、申請書を教務入試課に提出してください。申請に対し、標準修業年限で修了することが困難であると認められた方について、長期履修が許可されます。また、新入生だけでなく、入学後に学習環境が変化した学生も長期履修を申請することができます。

〔申請書類に添付する証明書等〕

- ・勤務状況を証明するものや、内定通知書等の写し。
- ・育児・介護の必要性を証明するもの（例えば、母子健康手帳の写しや介護保険被保険者証などの写し）。
- ・その他長期履修が必要であることを証明するもの。

(5) 申請後の変更

在学中1回に限り可能

大学院研究科（春季入学）入試状況（志願者数～入学者数）

研究科	日程	定員	選抜区分	R2年度				R3年度				R4年度			
				志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者	志願者	受験者	合格者	入学者
環境共生学 研究科 (博士前期 課程)	秋季募集	20名	一般	7	7	7	5	6	6	5	5	9	9	9	9
			社会人												
			外国人												
	春季募集	若干名	一般	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4
			社会人	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1
			外国人									1	1	1	1
	秋春計	20名	一般	9	9	9	7	9	9	8	8	13	13	13	13
			社会人	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
	合 計			10	10	10	8	11	11	10	10	15	15	15	15

研究分野の特色

A 環境科学分野

人口の増加と科学技術の進展に伴い、人間活動が増大し、大量の資源消費、化学物質等の環境中への放出等による環境負荷が増大し、地球環境に対して悪影響を及ぼしている。また、人間が健康で安全な生活をしていくためには、良好な地球環境を維持していく必要がある。環境負荷は人間への直接的な健康影響のみならず、湖沼や内湾などの閉鎖系水域や森林などへ不可逆的な影響を与えるため、化学物質の大気、水質、土壌等における現状とその挙動、生態への影響について理解する必要がある、環境分析化学的な調査研究に加え、生態への影響評価、地球物理学的な解析研究が必要である。

一方、地球上には多種多様な生物が生息し、複雑な生態系を構築している。生態系は微妙なバランスの上に成り立っており、生態系を理解することは、地球環境保全のためには重要なことであり、生態系は資源の供給源でもあることから、環境資源の保全という点でも極めて重要である。このような生態系における生物挙動、機能と構造、物質循環等を解明し、影響低減と利活用のための環境技術について教育研究することは、不知火海、有明海等の広大な沿岸域と阿蘇山地や九州山地といった山林域を抱える熊本県にとって、環境保全および農林水産業の振興という観点からきわめて重要である。

B 空間システム学分野

持続可能な開発と地域コミュニティの再生は、現在の私たちが取り組むべき非常に大きな課題である。様々な建築物を含む私たちの生活空間の中には、これらの問題を解決するための多くの貴重な教訓が含まれている。一方で、環境と共生するための環境工学や建築技術の研究は、日進月歩の勢いで進んでいる。そこで、生活空間の歴史的な教訓を地球規模で学びつつ、最新の環境工学・建築技術との融合を図ることにより、環境と共生した、かつ地域コミュニティの形成に資するような生活空間の維持・創造の方法を追求する。

熊本県内には、熊本市のような大都市から人口数万規模の中小都市まで多様な都市空間が存在し、さらに背後には広大な農山村が控えている。これらのいずれの空間も、商店街の衰退、交通渋滞、田畑・森林の荒廃など、深刻かつ様々な問題を抱えている。こうした問題を教育の中で取り上げるとともに、環境工学、建築技術・計画、農村・都市計画などの分野の有機的な連携の下に、現実的な解決策を積極的に提言していくことをめざす。

C 栄養・健康学分野

人は外部環境の変化に応じて、代謝調節機構によって内部環境が変化し、恒常性を維持することで正常な生命活動を営んでいる。すなわち、種々の生活・環境要因によって代謝が調節を受け、健康状態にさまざまな影響を与えている。現在、生活様式の多様化や少子高齢化などにより生活環境が大きく変化してきている。特に熊本県は、全国有数の長寿県であるが、高齢者の生活の質の維持・向上には「生き甲斐のある健康づくり」がきわめて重要で、質の高い栄養・健康環境の構築には、適正な食生活とともに適度な身体活動が必要である。例えば、高齢者の健康を脅かすものに生活習慣病や虚弱（フレイルティ）があるが、これらの要因や一次予防法を医学的、栄養学的、運動生理学的観点から究明することはきわめて重要である。

栄養・健康科学分野では食生活や身体活動を介した健康維持増進と疾病予防に関わる高度な教育研究を行い、高度な専門的研究者を養成する。また一方で、大学院で培われた高度な技術を社会に還元することが重要であり、そのためには、特に地域住民の健康増進と地域社会の環境向上のために貢献できる実践的専門家の養成を行う。

D 地域資源活用学分野

安全な食糧の安定供給ならびに循環型・環境保全型の食糧生産技術の構築は人類の最重要課題の一つである。この課題解決のためには、国際的なレベルで資源利用についての社会変革が求められる一方で、地域レベルでも取り組みを進め、地域での資源循環システムを構築することが必要となる。地域資源活用学分野では環境資源、居住環境、食健康環境の3つの視点を融合し、地域資源を持続的に活用していくための教育研究を行う。

たとえば、地域の農林水産業の活性化に関する教育研究、有用微生物を活用した食糧生産技術・環境保全技術の開発・研究や高い生物生産力を持つ海洋生態系の構造と機能の解明は、持続的な農林水産資源利用のあり方を示し、未利用資源の活用につながる。また、新規食資源の開発や食品創製の教育研究は食糧資源の有効利用や食糧廃棄の低減をもたらし、食糧生産を側面的に支援するとともに、食糧生産に伴う環境負荷を低下させる上で重要な意義を持つ。さらに、食品のもつ恒常性の維持増進機能（機能性）に関する研究と健康維持への利用は食品の付加価値を高め、農林水産資源の有効活用につながる。一方、多種多様な化学物質の氾濫、世界的規模でおこなわれている食糧の流通を考えると、食品の安全性に関する教育研究は必須である。また、農山漁村地域の地域資源を地域の住民や企業とともに発掘し、それを磨き、活用していくことは、そのプロセス自体が地域活性化に向けた方策となる。

このように、本分野では環境保全型の農水産業の推進・振興、地域食品産業の活性化、農山漁村地域における地域資源を活かした地域づくり、農地の保全・利活用といった観点から、地域資源を活用し資源循環システムを構築するための方策を科学的・学術的に研究教育する。

教 員 一 覧

令和5年度予定

研究分野※1	職 名	氏 名	担当授業科目名
A 環境科学分野	教 授	阿 草 哲 郎	大気・水系環境科学特論 化学物質精密計測学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	石 橋 康 弘	環境材料科学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	小 林 淳	大気・水系環境科学特論 環境物質動態学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	張 代 洲	大気・水系環境科学特論 大気物質循環論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	小森田 智大	沿岸生態学 大気・水系環境科学特論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
B 空間システム学分野	教 授	北 原 昭 男	木質構造設計論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	高 橋 浩 伸	共生住空間論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	田 中 昭 雄	人体適応工学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	辻 原 万 規 彦	パッシブ環境調整工学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	李 麗	空間構造論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	佐 藤 哲	建築計画学特論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	鄭 一 止	共生都市空間論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ

※1 「研究分野の特色」を参照

教 員 一 覧

令和5年度予定

研究分野 ※1	職 名	氏 名	担当授業科目名
C 栄養・健康学分野	教 授	下 田 誠 也	臨床機能栄養学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	松 本 直 幸	環境人間工学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	青 木 朋 子	発育発達運動環境論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	坂 本 達 昭	健康栄養管理学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	中 嶋 名 菜	栄養・健康学特論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	吉 田 卓 矢	栄養生理学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	助 教	谷 村 綾 子	栄養・健康学特論
D 地域資源活用学分野	教 授	一 宮 睦 雄	沿岸海洋資源学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	柴 田 祐	農山村域環境ストック論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	白 土 英 樹	食品機能分析学 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	松 崎 弘 美	応用微生物学 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	教 授	松 添 直 隆	植物資源利用学 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	阿 南 弥寿美	食資源安全性論 食品機能論 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ
	准教授	友 寄 博 子	栄養機能化学 環境共生学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ

※1 「研究分野の特色」を参照

教 員 一 覧

令和5年度予定

研究分野 ※1	職 名	氏 名	担当授業科目名
その他	環境共生学研究科長		環境共生学特論
	准教授	モロー ジェフリー スチュワート	環境共生学演習Ⅰ、Ⅱ
	教 授 (本学総合管理学部)	井 田 貴 志	環境共生学特論
	連携教授 (国立水俣病総合研究センター)	山 元 恵	環境共生学特論
	連携教授 (国立水俣病総合研究センター)	中 村 政 明	環境共生学特論
	教 授	石 村 秀 登	教職実践研究Ⅰ、Ⅱ
	非常勤講師	篠 塚 致 子	家庭科教育特論
	非常勤講師	吉 村 英 一	栄養制御学

※1 「研究分野の特色」を参照

※カリキュラム(教育課程)、シラバス(授業内容)については本学ホームページ(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>)をご覧ください。

入学願書

選抜区分 (該当する番号に○)	1 一般選抜（国際協力枠） 2 社会人特別選抜（国際協力枠）			
希望する研究分野	(記号)			分野
フリガナ			男・女	国籍（外国人留学生のみ）
氏 名				
生 年 月 日	和暦（昭・平） 年 月 日（ 歳） 西暦			
出 願 資 格	昭・平・令 年 月 国・公・私立 学部 大学 学科 取得学位 学士（ ）			1 卒業（学位取得） 2 卒業（学位取得） 見込み 3 その他（ ）
	その他			
現 住 所	〒 — (電話 — —)			
出願・受験中の 連 絡 先	〒 — (電話 — —) (携帯 — —)			
勤 務 先 名	(電話 — —)		職 業	
受験する専門科目 (一般選抜のみ)	科目番号	科目名	科目番号	科目名
希望指導教員				

- 1 ※印欄は記入しないでください。
- 2 「受験する専門科目」の欄は、一般選抜及び社会人特別選抜志願者のみ記入してください。
- 3 出願資格審査を経て出願される方は、出願資格のその他の欄に「個別の出願資格審査による」と記入してください。
- 4 希望指導教員欄に記入する教員には、必ず出願時に相談を行ってください。なお、入学後の実際の指導教員は希望どおりにならない場合があります。

写真票 令和5年度 熊本県立大学 大学院 環境共生学研究科 [博士前期課程] 【春季入学】	選抜区分	1 一般選抜（国際協力枠） 2 社会人特別選抜（国際協力枠）		
	受験番号	※		
	フリガナ			
	氏 名			
	生年月日	和暦(昭・平) 西暦	年 月 日	男 ・ 女
	希望する 研究分野	(記号)	分野	
	受験する 専門科目 (一般のみ)	1 (科目番号)	(科目名)	
	2 (科目番号)	(科目名)		
写真貼付欄 たて4cm×よこ3cm 脱帽 上半身 正面向 無背景 出願前3ヶ月 以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入				

(注) 1 ※印欄は記入しないでください。
2 選抜区分欄は、該当するものを○で囲んでください。

切り離さない

受験票 令和5年度 熊本県立大学 大学院 環境共生学研究科 [博士前期課程] 【春季入学】	選抜区分	1 一般選抜（国際協力枠） 2 社会人特別選抜（国際協力枠）		
	受験番号	※		
	フリガナ			
	氏 名			
	生年月日	和暦(昭・平) 西暦	年 月 日	男 ・ 女
	希望する 研究分野	(記号)	分野	
	受験する 専門科目 (一般のみ)	1 (科目番号)	(科目名)	
	2 (科目番号)	(科目名)		

(注) 1 ※印欄は記入しないでください。
2 選抜区分欄は、該当するものを○で囲んでください。
3 本票は受験の際必ず携帯し、試験室では机上において監督者に見えるようにしてください。

切り離さない

大学院環境共生学研究科[博士前期課程]
＜ 一般選抜（国際協力枠） 社会人特別選抜（国際協力枠） ＞
(4年度第 号)

現金領収書（原符）

金額	十	万	千	百	十	円
¥	3	0	0	0	0	0

ただし、令和5年度【春季入学】入学者選拔手数料として

(納入者)
住 所

氏 名

様

領収済印欄

大学院環境共生学研究科[博士前期課程]
＜ 一般選抜（国際協力枠） 社会人特別選抜（国際協力枠） ＞
(4年度第 号)

現金領収書

金額	十	万	千	百	十	円
¥	3	0	0	0	0	0

ただし、令和5年度【春季入学】入学者選拔手数料として
上記のとおり領収しました。

(納入者)
住 所

氏 名

様

領収済印欄

◎住所・氏名を記入の上、現金又は郵便為替で願書と同時に提出してください。
◎該当する選抜区分を○で囲んでください。

履 歴 書

選 抜 区 分 (該当する番号に○をつける)		1 一般選抜 (国際協力枠) 2 社会人特別選抜 (国際協力枠)		
フリガナ		受験番号	※	
氏 名				
履歴事項 (高等学校卒業以降を記入。外国人留学生は初等教育 (小学校) 入学以降を記入。)				
学 歴	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
職 歴	自	年	月	
	至	年	月	
	自	年	月	
	至	年	月	
	自	年	月	
	至	年	月	
研究業績、資格、賞罰				
年	月			
年	月			
年	月			
年	月			

- 【注】 1 ※印欄は記入しないでください。
 2 職歴は該当する方のみ記入してください。
 3 記入欄が不足する場合は、別の用紙 (A4判) に続けて記入するなどしてください。
 4 この様式は、本学ホームページ「入試情報 (大学院)」から印刷可能です。

研究志望調書〔博士前期課程〕【春季入学】

受験者氏名：_____

〔テーマ〕

〔概要〕（1,200 字程度）

- ※1 横書きとしてください。
- ※2 ワードプロ使用、手書きのどちらでもかまいません。
- ※3 この様式は本学ホームページ「入試情報（大学院）」から印刷可能です。

[社会人特別選抜（国際協力枠）] [博士前期課程]

国際協力・貢献活動の実績

受験者氏名： _____

活動を行った国	
活動期間	～

活動実績
1 活動の内容及び成果
2 活動が自分に与えた影響
3 活動内容と志望する研究分野の関係
4 活動経験を社会に還元する方法等（大学院での研究を踏まえて記載）

- ※1 ワープロ使用、手書きのどちらでもかまいません。
- ※2 記載内容が1枚では不足する場合は、別の用紙（A4判）に続けて記入するなどしてください。
- ※3 この様式は本学ホームページ「入試情報（大学院）」から印刷可能です。

推 薦 書

熊本県立大学大学院 環境共生学研究科長 様

- 1 受験者氏名：_____
- 2 推薦理由（志願者が実際に行った国際協力・貢献活動の内容、志願する研究分野への適性、人物・能力等について記載してください。）

（１）国際協力・貢献活動内容

（２）志望する研究分野への適性

（３）人物・能力等

上記の者は、 年 月 日～ 年 月 日まで在籍（従事）し、概ね2年間の国際協力・貢献活動の経験がありますので、「2 推薦理由」のとおり推薦します。

令和 年 月 日

推薦機関等名：_____

代 表 者：_____ 印

【注】1 推薦機関等及びその代表者については、受験者の国際協力・貢献活動の期間及び活動の内容を証明できる機関等及びその代表者に限ります。

出願資格審査申請書

令和 年 月 日

熊本県立大学大学院
環境共生学研究科長 様

(申請者)

フリガナ

氏 名

生年月日

【 西暦・昭和・平成 】(※○をつける)

年 月 日 (歳)

連絡先住所

〒 ー

電話番号 () ー

携帯番号 () ー

令和5年度(2023年度)熊本県立大学大学院環境共生学研究科(博士前期課程)【春季入学】に出願したいので、個別の入学資格審査を申請します。

令和5年度(2023年度) 熊本県立大学大学院 環境共生学研究科 [博士前期課程] 【春季入学】
<出願資格審査用>

履 歴 書

学 歴		※中学校卒業以降を記入。 ※外国人留学生は初等教育（小学校）入学以降を記入。
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
職 歴		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
研究業績、資格、賞罰		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

※ この様式は本学ホームページ「入試情報（大学院）」から印刷可能です。

大学施設配置図

日赤病院





再生紙を使用しています。



熊本県立大学

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL.096-321-6610(教務入試課入試班直通)
FAX.096-383-2364
<https://www.pu-kumamoto.ac.jp>
E-mail:nyusi@pu-kumamoto.ac.jp